



## カサモリパーク

「変わらないために、変わっていく」、刺繍メーカーの㈱笠盛 4 代目・笠原康利会長の言葉だ。物事が激しく変化する現代、将来同じ状態を保つために日々変わっていく必要があるという。そんな笠盛の変化を表す新拠点「カサモリパーク」が、今年 7 月、新宿の元計器メーカー跡地にオープンした。刺繍機 3 台が配された約 300 坪の新工場は、製造から出荷までの動線が確保され効率的なレイアウトを実現。三吉町の本社が手狭になったことと、受注が増えた時にもスムーズに対応できるよう、アフターコロナを見据えた挑戦である。

笠盛は 1877 年（明治 10）、和装帯の織屋として創業。62 年（昭和 37）に刺繍業に転身すると、独自技術の開発や海外展開などを果たし、国内外の有名メゾンからも高く評価される。すべて糸でできた刺繍アクセサリーブランド「000（トリプル・オウ）」は、2010 年（平成 22）に誕生し、笠盛の代名詞になりつつある。昨年はラグジュアリーマスク「FACE DRESS（フェイス・ドレス）」を、クラウドファンディングで販売し大きな反響を呼んだ。経営陣の柔軟な姿勢と熱意ある人材に支えられ、BtoB と並行し自社ブランドによる BtoC へ積極的にビジネスを展開している。

カサモリパークは製造の拠点に留まらず、ものづくりと人が交流できる施設として「パーク」と名付けられた。11 月 5 日（金）・6 日（土）には、「カサモリパーク・フェスティバル」を初開催し、自社アイテムの販売や工場ツアー、ワークショップなど、ものづくりの現場に触れる催しに多くの来場者が訪れた。特に若い世代や親子連れも目立ち、「将来はものづくりの仕事に就きたい」と話すお子さんもいたそうで、ものづくり文化の継承へ可能性を示した。

笠原会長は日ごろから従業員に対し、自社が地域社会をけん引する「地域の北極星」となることを意識させているという。ものづくりの文化が根付き、産業観光を推し進める桐生にとって、『ものづくり』、『体験』、『交流』を備えるカサモリパークは地域が目指すべき一番星である。

# 創業 140 年の刺繍メーカーが挑む 産業観光の新拠点

### 【カサモリパーク】

●住所／桐生市新宿3-4-7 ●電話／0277-44-3353

### 【本 社】

●住所／桐生市三吉町1-3-3 ●電話／0277-44-3358 ●HP／<http://www.kasamori.co.jp/>

📷 @kasamori\_official